

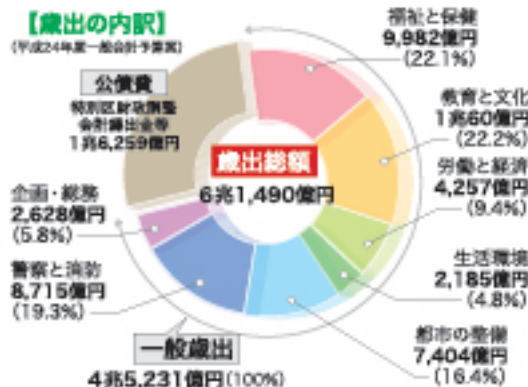


東京都議会議員

斉藤あつし

斉藤あつしプロフィール：東京都議会厚生委員会委員 都議会民主党都府対策議員連盟会長 都議会民主党がんプロジェクトチーム座長
東京都地域精神保健福祉審議会委員 東京都医学研究機構評議員 看護師・社会福祉士 元東京消防庁消防官

都予算案6.1兆円 都民1人あたり 46万6,000円



防災・エネルギー政策を重視

～総額は抑制、経済波及効果高いインフラ整備費は維持～

平成24年度東京都一般会計予算案が審議されました。東日本大震災の影響や世界経済の減速など厳しい景気情勢が続いているため、都税収入は5年連続の減収となる見込みです。そのため、都債(借金)の発行や基金(貯金)の取り崩しを増やすことによつて、必ず起こる首都直下地震への防災対応力の強化や、電力の安定供給に向けた発電などの環境・エネルギー政策、国際競争力を確保するインフラ整備などに重点配分した予算になっています。

あなたの税金、何に使われる!?

私 たち都議会民主党は、平成24年度の東京都予算案の編成に先がけ、石原知事に重点要望をおこないました。皆さまの都税が何にいくら使われ、それによって何が期待できるのかという視点から、その結果をお知らせします。ご一読頂き、率直なご意見を頂ければ幸いです。

要望 01

▶ 防災対策の強化

その結果→自動・共助・公助による災害対応力の強化(283億円)

① 何が期待できる?

東日本大震災の被害を踏まえて、消防救助機動部隊(ハイパーレスキュー隊)の増設や消防施設の整備、都立学校における実践的な防災教育の推進、帰宅困難者対策(一時滞在施設の確保や訓練実施)などが進みます。

要望 02

▶ 都立高校生の海外留学支援

その結果→次世代リーダーの育成-長期留学など(1億9千万円)

① 何が期待できる?

選抜された150名の都立高校生が1年間の留学を行い、帰国後は、フォーラムを開催して、生徒たちが学んだことを皆に伝えていきます。日本そして世界を牽引する次世代リーダーが育っていきます。

要望 03

スポーツ祭東京2013の開催準備

その結果 国民体育大会競技施設整備費補助(6億円=多摩分)

① 何が期待できる?

国体の競技施設として、御島渓谷特設カヌー競技場(青梅市)やスポーツセンター屋外施設(東久留米市)の整備をはじめ、朝日サッカー場(府中市)や立川公園野球場(立川市)の改修など、多摩16市町19施設で整備・改修が進みます。

要望 04

▶ 中小企業支援の強化

その結果→中小企業制度融資(2,524億円)

① 何が期待できる?

震災や円高の影響で、厳しい経営環境にある中小企業に対し、資金調達の支援が行われます。融資目標額は、過去最高と同額の2兆2,000億円です。

要望 05

▶子育て環境の整備、待機児童解消
(平成23年4月1日現在、待機児童は7,855人)

その結果→待機児童解消区市町村支援事業(20億円)
都型学童クラブ運営費補助(11億円)

④何が期待できる?

保育所の開設準備支援・整備などを補助することで、待機児童受け入れが拡大。保育サービス拡充を加速し、また、都の要件を満たす事業を補助することで、学童クラブの午後7時以降の開所、保育士資格者配置などが進みます。



要望 06

横田基地の軍民共用化を

その結果 基地対策事務(1億円)

④何が期待できる?

横田基地の軍民共用化の早期実現を国に求めていくことなどで、首都圏西部地域の航空利便性の向上やビジネスジェットなど多様な航空サービスへの対応が進みます。



要望 07

▶幹線道路など都市基盤の整備

その結果→骨格幹線道路整備事業・
地域幹線道路整備事業(1,450億円)

④何が期待できる?

現在、東京の道路網の整備率は、三環状道路が47%、区部環状道路87%、多摩南北道路73%。これらの着実な整備と、羽田・成田空港と京浜三港の機能強化、陸・海・空の交通・物流ネットワークの形成が図られます。



要望 08

▶若者の雇用対策の強化

その結果→紹介予定派遣制度を活用した就職支援(28億円)

④何が期待できる?

若者の大企業志向と中小企業の人材確保にミスマッチが生じています。このことから、東京都では、平成23年度に、未就職卒業者と中小企業をマッチングし、3~4か月の派遣終了後、正規雇用化を図る事業を創設。24年度は、対象者に若年非正規労働者に加え、事業規模を750人から1400人に拡大するなど、若年者の正規雇用化が進みます。



要望 09

▶救急搬送時間の短縮・救急医療対策、
がん対策の強化

その結果→東京都地域救急医療センター(6億円)
がん診療連携拠点病院事業(5億円)

④何が期待できる?

地域ごとに救急センターを設置し、患者の受け入れについて病院同士で協力・連携する体制を確保します。専門だけに頼らない総合的がん医療が受けられることに加え、新たに緩和ケアの連携体制を構築することで、痛み軽減が進みます。



要望 10

▶高齢者福祉の推進

その結果→認知症疾患医療センター(1億円)
特別養護老人ホーム・認知症グループ
ホーム整備費補助(135億円)

④何が期待できる?

各地域に認知症疾患医療センターを設置することで、医療と介護サービスの連携による認知症の専門医療が受けられ、認知症患者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるようになります。また、特別養護老人ホーム・認知症グループホームの地域偏在の解消が進みます。



要望 11

▶自立・分散型電源を確保

その結果→高度防災都市づくりのための自立・分散型電源
導入支援事業(5億円)

④何が期待できる?

東日本大震災直後の電力不足の際には、六本木ヒルズのような自家発電設備の存在が脚光を浴びました。震災等の非常時における都民生活・都市活動へのダメージを最小限にするため、エネルギー源の自立化、分散化が進みます。



要望 12

都市農業の振興を

その結果 都市農業の振興(41億円)

④何が期待できる?

農地の少ない都心部向けの流通ルートを構築することで、都市農業の振興を都内産農産物の地産地消の拡大と新たな販路開拓が進みます。また、農業・農地の多面的機能を活かしたまちづくりの取り組み支援などで、都市農業が元気になる予定です。

ご意見・ご要望をお寄せ下さい ☎ 斉藤あつし事務所 ☎ 042-341-0915 Fax 042-341-6921

連絡先

〒187-0032 小平市小川町2-1344-2-101
月~金曜日 10~5時(公務により外出している場合があります)
ホームページ: saitoujimusho@jcom.home.ne.jp

〒187-0032

小平市小川町2-1344-2-101
月~金曜日 10~5時(公務により外出している場合があります)
ホームページ: saitoujimusho@jcom.home.ne.jp